

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に 要する期間
1	14	他施設(法人内)との交流はもとより法人外の同業者との交流する機会を積極的に設けサービスの質の向上を図っていく。	介護施設向けの市町村等での開催の研修への積極的な参加と法人内の委員会活動を通しての積極的な意見交換を図りスキルアップを図っていく。	介護施設向けの研修会等の情報を収集し、積極的に参加していく。 法人内の委員会活動を通して積極的な意見交換を図りその結果を全職員へ報告・検討周知にてスキルアップを図る。	3ヶ月
2	33	協力医を確保しているが、まだ看とりはないため、今後の課題として支援体制を作っていく必要あり。	当事業所として現在できる事を入居時に家族や本人へしっかりと説明、話し合いをし同意を得ながら方針を共有していく。	職員体制の充実を図り、看取りに関する研修会等の情報を収集し積極的に参加していくとともに研修会等の内容に基づき内部研修も行い体制づくりに取り組んでいく。	3ヶ月
3	35	地域との協力体制づくり 地域の方々参加のもとでの避難訓練を実施	地域の方々に参加していただいたの避難訓練の実施。	地域の催し物、地域行事に参加し、地域の方々とのコミュニケーションを深める。 協力地域を拡大し、協力体制をまとめる。	4ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。